

◎特集1 / 平成18年度主要事業の概要

◎特集2 / キャリア教育実践プロジェクト推進事業

- 小・中学校における特別支援教育の推進
- 平成18年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告
- 八ヶ岳少年自然の家リニューアル
- 県立博物館企画展「やまなしはじめて物語」
- らくがき …… 山梨南中学校 辻純二教諭
新田小学校 早川健教諭
- 県立学校のAED設置事業について
- 学校紹介 / 富士河口湖町立西浜中学校・ひばりヶ丘高校
- 総合教育センター情報 / 研究開発部
- 新教育長、新教育委員就任あいさつ
- 県立図書館 / 「図書館員の道具箱…テーマ別調べ方ガイド…」
- 山梨の文化財 / 県指定有形文化財
大師東丹保遺跡・網代一点 (山梨県)
- 主な行事予定



特集 1

平成十八年度主要事業の概要

「やまなしの教育基本計画」では、基本目標を達成するため、五つの具体的施策の方向を示しています。ここでは、その五本の柱に沿った平成十八年度の主要事業を紹介いたします。

なお、教育委員会のホームページに施策体系（関連事業一覧）、事業概要などを掲載していますので、ご覧下さい。

1 一人一人の学びを実現する生涯学習の推進

ITを活用した生涯学習環境づくり		
○生涯学習情報提供事業費 ・「やまなしまなびネットワークシステム」運営費	6,874千円	生涯学習文化課
○図書館電算費 ・図書館電算システム運営費 ・図書館情報ネットワークシステム運営費	50,740千円	社会教育課
多様な生涯学習機会の提供		
●キャンパスネットやまなし運営費	1,661千円	生涯学習文化課
○山梨ことぶき勸学院運営費	29,635千円	社会教育課
○博物館事業費 ・展示事業、教育・交流活動事業、調査・研究事業	20,579千円	学術文化財課
生涯学習施設の充実		
○新たな学習拠点整備推進費 県民の様々な学習活動を支援するため、県立図書館と生涯学習推進センターを一体化した集客・交流機能を有する新たな学習拠点をPFIにより整備する。	66,669千円	企画課
○科学館運営費	375,414千円	社会教育課

インターネットによる本県教育行政の情報提供

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyouiku/index.html>

2 明日を担う子どもをはぐくむ家庭・地域・学校の連携の推進

家庭教育における学習機会の提供と普及・啓発 家庭教育における相談体制の整備とネットワークづくりの推進		
●家庭教育推進事業費 ・「父親を考える」フォーラムの開催 ・子育て相談総合窓口運営事業 ・幼児教育放送「子育て日記」 ・子育て支援コーディネーター養成事業	15,133千円	社会教育課
地域で子どもをはぐくむ環境づくり		
○青少年教育推進事業費 ・フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」 ・高校生やまなしネイチャー体験事業 ・少年海外研修事業「フィール コーリア21」	5,620千円	社会教育課
○地域教育推進事業費 ・県立施設開放講座 ・㊦地域・家庭におけるニート予防対策推進事業費	1,946千円	社会教育課
家庭・地域における子どもの読書活動の推進		
○㊦子どもの読書活動推進事業費	140千円	社会教育課
学校情報の提供と家庭や地域からの意見の反映 地域の教育力の活用と連携		
○㊦学校評価実践研究事業費 小中学校における学校評価システムを確立するため、実践研究等を実施する。	8,030千円	義務教育課
○いきいき教育地域人材活用事業費 地域の人材を特別非常勤講師として学校に派遣し、地域と一体となった開かれた学校づくりを推進する。	6,953千円	義務教育課





インターンシップ (就業体験)

3 個性を生かし、未来を拓く知恵と豊かな心をはぐくむ学校教育の充実

豊かな心をはぐくむ教育の充実

- 地域とともにほぐくむ豊かな心の育成推進事業費 5,172千円 義務教育課
学校と家庭、地域が相互に連携して、道徳教育の充実を図り、子どもたちの豊かな心を育成する。
- 豊かな未来をはぐくむ高校教育推進事業費 40,000千円 高校教育課
各県立高校が、生徒や地域の実態を踏まえ、創意工夫を活かした特色ある教育活動を行う。

「確かな学力」の向上と個性を生かす教育の充実

- 学びの意欲向上推進事業費 1,000千円 義務教育課
子どもたちの学習意欲を向上させるため、学習状況の評価を指導内容に反映させ、個に応じた指導の一層の充実を図る。
- 郷土学習教材「ふるさと山梨」作成事業費 528千円 義務教育課
小中学生に郷土を愛する心情をはぐくむため、郷土「山梨」の風土や歴史等についての学習に活用できる副読本を作成する。
- 豊かな言語環境づくり推進事業費 975千円 義務教育課
小中学生の国語力の向上を図るため、学校と家庭が連携し、豊かな言語環境づくりを推進する。
- 知のバイオニア推進事業費 1,742千円 高校教育課
・確かな学力向上推進事業
・国語力育成推進事業
- 自ら学ぶ学校図書館活用事業費 13,630千円 高校教育課
県立高等学校図書館の図書を電子情報化し、既に整備済みのインターネットと併せ学校図書館を学習情報センター化し、自ら学ぶ力の育成を図る。

時代を展望する教育の推進

- レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業費 1,079千円 義務教育課
小学校の教育課程の中に英語活動を取り入れ、英語に触れたり、外国の生活や文化等に親しむなど、国際理解教育の充実を図る。
- 地球を守る！小中学校「エコ活動」推進事業費 1,446千円 義務教育課
子どもたちが日常生活の中で環境に配慮した活動の必要性を自ら考え、認識できるようにするため、「エコ活動」の実践による環境保全の取り組みを推進する。
- 高校生インターンシップ推進事業費 789千円 高校教育課
望ましい職業観・勤労観を育成するため有効な各校のインターンシップを支援する。
- 教育情報ネットワーク整備事業費 107,062千円 高校教育課
総合教育センター、県立学校のインターネット利用環境を整備し、情報教育の推進を図る。
- 専門高校情報教育機器更新事業費 89,694千円 学校施設課
専門高校の情報教育機器を新学習指導要領や各種先端技術に対応できる機器に更新する。

健康や体力をはぐくむ教育の充実

- 学校体育振興費 42,138千円 スポーツ健康課
・学校体育指導者の資質向上事業
・運動部活動外部指導者派遣事業
・学校体育外部指導者派遣事業
・「健康・体力づくり」実践事業
●地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
●子どもの安全に関する情報共有システム推進事業

特別支援教育の充実

- 特殊教育推進費 4,689千円 新しい学校づくり推進室
・県心身障害児適正就学推進委員会の開催
・障害児のためのプレスクール・システム
・自作教材・教具開発等
・特別支援教育推進体制整備事業
●特殊教育振興審議会開催費
- 医療的ケア支援事業費 202千円 新しい学校づくり推進室
医療的ケアを日常的に必要とする児童生徒が在籍する甲府養護学校、あけぼの養護学校に2名、ふじざくら養護学校に1名の看護師を配置するとともに、医療的ケアの体制整備を推進する。

魅力ある高校づくり

- 新しい高校づくり推進事業費 5,893千円 新しい学校づくり推進室
・総合学科の設置推進
・中高一貫教育校の設置推進・教員研修事業の実施
・高校ガイドブックの作成・高校改革アンケート調査の実施
●新たな入学者選抜制度パンフレットの作成

学校施設の充実

- 高校施設整備費 974,066千円 学校施設課
県立高校の施設整備等教育環境の整備充実を図る。
・老朽校舎等改築整備（吉田高校）
・総合学科高校施設整備（富士北稜高校）
・耐震補強・大規模改修（農林高校土木実習棟） 等
- 高等学校教材設備近代化事業費 162,291千円 学校施設課
高等学校の教材教具の整備を行う。
- 養護学校等施設整備費 1,725,107千円 学校施設課
特別支援教育の充実を図るため、施設整備の推進を図る。



吉田高校



4 健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現

参加機会の充実

○生涯・地域スポーツ推進事業費 総合型地域スポーツクラブの育成・支援、指導者の活用	3,856千円	スポーツ健康課
○県スポーツ・レクリエーション祭実行委員会助成費 ・第18回山梨県スポーツ・レクリエーション祭開催費 ・第19回全国スポーツ・レクリエーション祭選手派遣費	17,188千円	スポーツ健康課

スポーツ環境の充実

○県立高校施設開放事業費	27,809千円	スポーツ健康課
広く県民にスポーツ活動の場を提供するため、県立高校の体育施設を開放する。		

競技力の向上 指導体制の充実

○競技力向上費 競技スポーツの振興を図るため、競技人口の拡大と競技水準の向上を目指し、選手の育成強化を図る。	133,800千円	スポーツ健康課
○競技者一貫指導体制推進事業費	6,600千円	スポーツ健康課



5 心に潤いと豊かさをもたらす文化の振興

芸術文化鑑賞機会の充実

●山梨芸術劇場開催費 生の舞台芸術を鑑賞する機会を拡充するため、各地域においてオーケストラや室内楽、太鼓などの6公演を行う。	2,205千円	生涯学習文化課
●美術館事業費 ・企画展 「柳宗悦の民藝と巨匠たち」展 「ドイツ近代美術の巨匠 バルラハ」展 「エコール・ド・パリの魅惑」展 等	116,985千円	学術文化財課
●博物館事業費 ・企画展 「やまなし はじめて物語」 ・開館1周年記念特別展 「祈り-甲斐の信仰と美術」展 等	63,531千円	学術文化財課
●考古博物館事業費 ・特別展 「東国制覇の拠点-甲斐桃子塚古墳出現の背景-」展	19,184千円	学術文化財課
●文学館事業費 ・企画展 「辻邦生」展、「正岡子規と近代俳句」展	53,784千円	学術文化財課

文化創造活動への支援

●県民文化祭開催費 県民の文化活動への参加を促進し、個性あふれる文化を創造する県民総参加型の県民文化祭を開催する。	14,559千円	生涯学習文化課
--	----------	---------

文化財等の保存と活用

○県指定史跡甲府城址保存活用等検討事業費 甲府城址の保存活用について、天守閣復元の可能性を中心にした調査検討を行う。	6,600千円	学術文化財課
○埋蔵文化財学習活用事業費 解説パンフレットの作成、考古資料の整備、貸出し等	2,037千円	学術文化財課
○文化財保存事業費補助金	118,029千円	学術文化財課
○埋蔵文化財調査費	119,455千円	学術文化財課
○「山梨県史」編さん費	45,806千円	県史編さん室

●は「5つの重点施策」に該当する事業

「やまなしの教育基本計画」指標一覧

1 一人一人の学びを実現する生涯学習の推進

指 標 項 目	基準値(H14)	目標値(H25)	現況値(H16)	進捗率(%)
県民の生涯学習に対する関心度	まなびネットワークの会員数	2,400人	1,120人	31.7
	キャンパスネットやまなしの入学者数	3,000人	1,915人	36.3

2 明日を担う子どもをはぐくむ家庭・地域・学校の連携の推進

指 標 項 目	基準値(H14)	目標値(H25)	現況値(H16)	進捗率(%)
開かれた学校づくりへの取組状況	ホームページを開設している学校率	100%	61.5%	17.2
	公立小中学校の「学校評価システム」導入率	100%	61.2%	61.2
青少年関係施設を利用し様々な活動を行っている状況	八ヶ岳少年自然の家などの青少年関係施設の利用者数	733,000人	693,921人	61.8

3 個性を生かし、未来を拓く知恵と豊かな心をはぐくむ学校教育の充実

指 標 項 目	基準値(H14)	目標値(H25)	現況値(H16)	進捗率(%)
「確かな学力」の育成状況	国語 80.7%	100%	82.6%	9.8
	数学 79.4%		78.7%	△3.4
	英語 77.8%		78.3%	2.3
小学校段階における英語に親しむ環境づくりの取組状況	公立小学校で外国人との英会話を延べ10回以上実施している学校率	100%	79.2%	35.8
公立小中学校における不登校の状況	児童生徒1千人当たり不登校者数	10人	11.9人	△5.6
児童生徒の体力の状況	新体力テストの成績で全国平均を上回る種目率	100%	平成17年度調査	
IT教育の充実度	コンピューターを使って授業ができる教員率	100%	62.7%	23.6

4 健康で明るい生活を支える豊かなスポーツライフの実現

指 標 項 目	基準値(H14)	目標値(H25)	現況値(H16)	進捗率(%)
生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境の充実	総合型地域スポーツクラブの設置市町村率	100%	10.5%	7.5
スポーツの指導体制の充実度	スポーツリーダーバンクに登録した有資格指導者数	1,150人	1,214人	133.3
競技スポーツの振興の成果	国民体育大会の入賞者数	105人・団体	101人・団体	50.0

5 心に潤いと豊かさをもたらす文化の振興

指 標 項 目	基準値(H14)	目標値(H25)	現況値(H16)	進捗率(%)
身近で芸術文化に親しむことができる機会の充実度	公立文化ホールの自主事業開催回数	250回	234回	72.9
県民の自主的・積極的な芸術・文化活動の状況	県民文化祭への県民の参加率	15%	10.5%	8.2
県民が守り伝えていくべき文化財の状況	国、県指定文化財数	688件	642件	16.4

※ 進捗率=(現況値-基準値)/(目標値-基準値)×100

特集2

キャリア教育実践 プロジェクト推進事業 — 義務教育課 —

◇事業の概要

昨年九月号でも紹介されたキャリア教育実践プロジェクト事業は、今年度で二年目になります。

この事業は、中学生が原則として連続五日間の職場体験を中核としたキャリア教育の調査・実践・研究を行う事業であります。

文部科学省ではキャリア教育を、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育ととらえており、「キャリア教育」とは、端的に「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」としてあります。

この事業には、次のような特色があります。一つは、市町村を推進地域として指定することです。地域指定をすることで、保護者及び地域全体で子どもを育てていくことの啓発につながります。また、職場体験の受入れ事業所の確保が促進されるということもメリットとしてあげられます。

推進地域は単年度指定ですが、指定後も、有効的な職場体験の在り方の基盤拡大を図ることができ、実践が継続されていくように研究に取り組めます。また、他地域への実践の輪が広がっていく効果も期待できます。

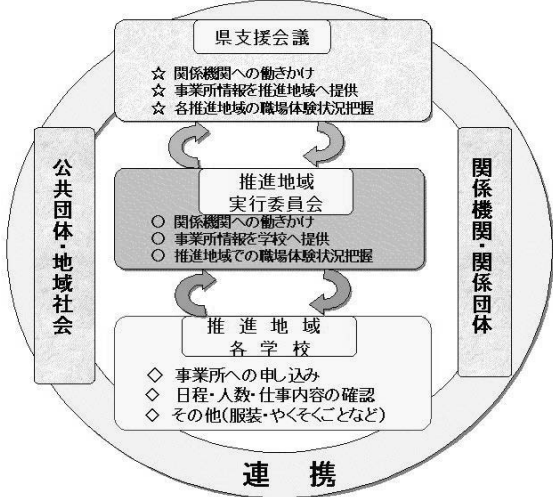
二つ目は、県では支援会議を、各推進地域で

は実行委員会を開催することです。これらには、学校関係者以外の方々にも参加していただき、事業所の円滑な職場体験の受入れシステムづくりや、キャリア教育を推進するための手だてや課題などについて協議します。

昨年度の支援会議では、キャリア教育の意義や目的、受入れ事業所に関わること、中学生の職場体験での心構えや注意事項、学校として事前に取り組んでほしいこと、準備しなければならないことなど、この活動を推進するにあたって、多くの貴重な意見が出されました。

さて、当事業の組織図を示すと、次の通りとなります。

キャリア教育実践プロジェクト推進体制



◇実施校の主な活動例

◎甲斐市立敷島中学校の取組

次のような事前学習を行い、職場体験に臨みました。

- ① オリエンテーション
- ② 身近な職業アンケートの実施
- ③ 県下の職業調べ
- ④ 職業調べのポートフォリオ作成（前年度実施）
- ⑤ ポートフォリオの掲示物による職業学習
- ⑥ 職場体験のオリエンテーション
- ⑦ 職場体験希望調査
- ⑧ グループでの職場調べ学習
- ⑨ 職場体験のための事前学習
- ⑩ 職場体験の実施



職場体験の様子
(敷島中学校)

◎甲斐市立双葉中学校の取組

事前学習にキャリア・アドバイザーを多く活用した取組を行い、職場体験に臨みました。

- ① ガイダンス
- ② 職場見学
- ③ お礼の手紙作成
- ④ 職業講話Ⅰ『職業・職場体験について』

- ⑤ 職場体験計画作り、職業適性検査
 - ⑥ 職業講話Ⅱ 『異文化との出会いと生き方』
 - ⑦ 職業講話Ⅲ 『JICA(日本国際協力機構)と看護師への道』
 - ⑧ 職場体験計画作成
 - ⑨ 職場体験実施
 - ⑩ 職場体験発表会準備
 - ⑪ 職種別発表会
 - ⑫ 学年発表会
- (上段) 双葉中学校
(下段) 富浜中学校



◎大月市立富浜中学校の取組

目標・内容・視点に分け、二つの職場 体験に取り組みました。

- ① 福祉施設の職場体験(二日間)
働くことを要素的に捉え、実際に体験し、理解する。主として、【職業理解能力】【役割把握・認識能力】を育成する。
- ② 希望職種での職場体験(三日間)
職種選択を通じて自己の特性を考える。活動を通じて自己理解を深める。主として【選択能力】【計画実行能力】を育成する。活動全体を通じて【コミュニケーション能力】の育成を図る。

◇成果と課題

これらの学校以外の実施校においても様々な取組が行われ、次のような成果と課題が見つかりました。

【成果】

- ・ 地域の協力が得られ、地域社会と学校が連携する大きな機会となった。
- ・ 生徒に精神的な成長が見られ、職業について、以前より具体的に進路と関わって考える姿勢が見られた。
- ・ 将来のことを真剣に考えようとする生徒が増え、学校での日常生活(生活面・学習面)の中で、「自分や自分たちの生活を大切にしよう。」という意識が高まった。
- ・ 教職員にとっても外部の社会と関わる良い機会となった。
- ・ 厳しい仕事を体験し親がしている仕事の苦勞を考えられた。
- ・ 体験を通して、まず「コミュニケーション」が重要であることが実感できた。あいさつに始まって返事や受け答えなど、日頃の学校生活で行われていることは大切なんだと感じることができた。
- ・ 五日間の長期にわたり職場体験を行ったので、働くことのつらさの中に喜びもあることを実感できた。

【課題】

- ・ キャリア教育を有効に推進するためには、より多くの事業所の職場体験に対する理解が必要。
- ・ 体験場所への移動で、公共交通機関が利用できない時の安全の確保。

- ・ 用具等を破損させるような受入れ先に迷惑を掛けた場合の対処。
- ・ 小・中・高のキャリア教育への系統性をどう見出ししていくか。その中で中学校段階で押さえることは何かを明確にしていくこと。
- ・ 進路指導の教育課程を、キャリア教育の立場から再編する必要性。
- ・ 職場体験活動を含め、中学校三年間を見通し計画的・系統的なキャリア教育プログラムの作成。

◇平成十八年度の推進地域について 実施校・研究テーマ・計画の概要

- ◎甲州市(松里中学校・勝沼中学校・大和中学校)
○研究テーマ
地域・家庭・学校が一体となって推進するキャリア教育をめざして
- 研究計画の概要
・ 地域・家庭・学校が一体となったキャリア教育推進のためのシステムづくり。
・ 望ましい職業観・勤労観の育成
「職場体験実施状況等の評価」など。
- ◎南アルプス市(白根御勅使中学校・八田中学校・芦安中学校)
○研究テーマ
地域及び校種間の連携による職場体験の実施と系統的キャリア教育の研究。
- 研究計画の概要
・ 職場体験の組織的・計画的実施のために実行委員会を設置。
・ キャリア教育研究委員会(小・中・高の各校担当者及び市教委担当者で構成)を開催し、小学校、中学校、高等学校における系統的キャリア教育の研究を実施。

小・中学校における特別支援教育の推進

―新しい学校づくり推進室―

文部科学省における特別支援教育の在り方に
関する調査研究協力者会議から「今後の特別支
援教育の在り方について（最終報告）」が出さ
れたのが、平成15年3月。これにより、小・中
学校において通常の学級に在籍するLD・AD
HD・高機能自閉症等を含め特別な教育的支援
を必要としている児童生徒に対して、適切な教
育的支援を行う方向性が示されました。

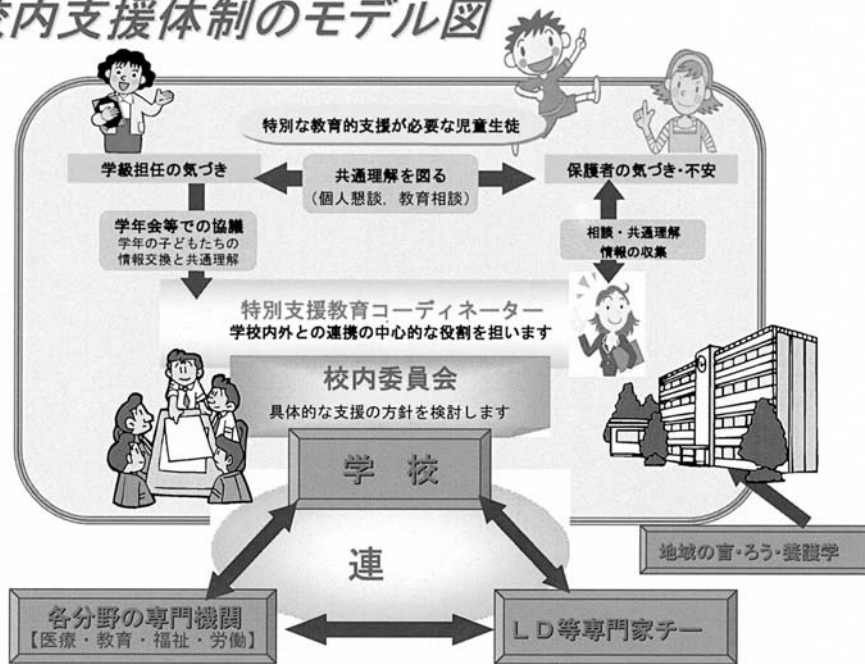
山梨県でも、平成15年度より、文部科学省の
モデル事業研究協力校における、総合的な校内
支援体制づくりや特別な教育的支援を必要とし
ている児童生徒に対する適切な指導の在り方な
どについて、実践的研究が行われてきました。
また、その成果の広がりから、その他の学校に
おいても、特別支援教育に関する校内委員会
の設置や校内研修会の実施などの取組が行われ
ています。

平成16年4月には、「発達障害者支援法」の
施行を踏まえて、文部科学省が、「平成19年度
までを目標に、全ての小・中学校において通常
の学級に在籍するLD等を含む障害のある児童
生徒に対する適切な教育的支援のための支援体
制を整備する。」という方針を示しています。

山梨県教育委員会としても、これまでもLD

等の児童生徒に対する理解や支援のための研修
会の開催、啓発リーフレットや指導資料「校内
支援ハンドブック」の作成・配付や、校内にお

校内支援体制のモデル図



いて特別支援教育の推進役であり、校内外の関
係者や専門機関との連絡調整役となる「特別支
援教育コーディネーター」の養成研修会の開催
などにも取り組んできました。
平成18年度においては、これらの取組をさら
に推進し、県下の全ての公立小・中学校におい
て総合的な校内支援体制を整備することとしま
した。具体的には、次の4点について取り組む
こととなります。

- 特別支援教育に関する校内委員
会の学校運営組織への位置づけ
と設置
 - 特別支援教育コーディネーター
の校務分掌への位置づけと指名
 - 通常の学級に在籍する特別な教
育的支援を必要としている児童生
徒及び特殊学級に在籍する児
童生徒に関する「個別の指導計
画」の作成
 - 特殊学級に在籍する児童生徒に
関する「個別の教育支援計画」
の作成
- ※ 図「校内支援体制のモデ
ル図」参照。
- 今後、LD等の児童生徒を含めた
障害のある児童生徒の自立と社会参
加に向けて、小・中学校における特
別支援教育を推進していく考えです。

平成18年度公立高等学校入学者 選抜学力検査成績調査結果報告

一 高校教育課 一

平成18年度山梨県公立高等学校入学者選抜学力検査を3月7日に実施しました。

その検査結果について、総合平均点の推移と、各教科の結果を考察し、以下のようにまとめました。なお、教科別調査結果の考察は、全教科（5教科）を受検した者5,629人（男子3,063人／女子2,566人）の中から無作為に抽出し、調査した結果を考察しています。抽出人数は563人で、全体に占めるその割合はおよそ10%になります。また、全ての高等学校の受検者を対象に、その高等学校の受検者数に応じて、男女に関係なく抽出しました。

I 総合得点について

本年度の総合得点の平均点は245.2点で、前年度より16.8点下がりました。最高点は474点、最低点は13点でした。男女別に比較してみると、男子は243.8点、女子は246.8点で、女子が男子より3.0点高くなっています。

平成14年度から今年度入試まで5年間の全体平均点は（図1）のように推移しています。各年度ごとの難易度に差があり単純な比較はできませんが、データからは低下傾向を読み取ることができます。

なお、各教科の平均点とその推移は（図2）のとおりです。

II 教科別調査結果の考察

○国語

言語事項の基本的な常用漢字の読み、書取りや書写などでは、よく学習が身に付いています。しかし、全般的にやや難易度が高い音読みの熟語などについては、不得意な傾向があります。

文学的文章や古典の設問では、選択肢などの設問については正答率が高くなっていますが、様々な表現をもとにして、脈絡を正しく読み取ったり、詩と鑑賞文を読み比べたりしながら文意を読み取るなど、文章をいったん自分の言葉に置き換えて理解し、それをもとに考察を進めるような読解については、習熟していません。

説明的な文章では、2つの文を読み比べ、作者の主張とそれを支える例や論旨について正確に捉え、さらにそれをもとに自分の意見を述べることには、課題があります。

○社会

基礎的・基本的な部分に関する知識や理解力、資料活用の技能、思考・判断力は概ね身に付いています。しかし、複数の資料から読み取った情報を、問いに沿って、論理的に結びつけ、答えを導き出していく思考・判断力に欠ける面も見られます。また、資料から読み取った情報や社会的事象を、指定された字数で簡潔に表現する能力に差が見受けられました。

○数学

基礎的・基本的な知識や技能については、十分な定着がうかがえます。しかし、数学的な見方や考え方が要求される設問や複数の領域の内容を総合して扱う設問では正答率が低くなっています。特に、基本的事項を組み合わせる活用して考察したり処理したりする場面や学習内容の意味に関わる問題場面で正答率が低い傾向がうかがえます。

単に問題を処理するための知識や技能の習熟にとどまらず、身近な場面や数学的な事象に積極的に活用することを通して、見方や考え方を磨き、創造的な思考力を身につけることが求められます。

○理科

覚えたことを答える問題や問題集等にあるパターン化された問題については正答率は高くなっています。しかし、思考力を問う問題では、平均点が低くなっています。論理的に思考することやいくつかの基本的な内容を組み合わせる総合的に思考する問題、イメージを理論的に思考する問題が苦手であると思われます。

○英語

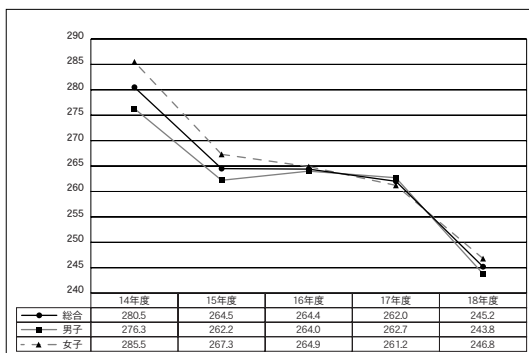
「聞くこと」「話すこと」「読むこと」及び「書くこと」の4領域について、知識・技能をもとに、基本的な英語運用能力を検査できる問題としました。

「聞くこと」については、その基本的な能力の定着状況は概ね良好であったと考えられます。

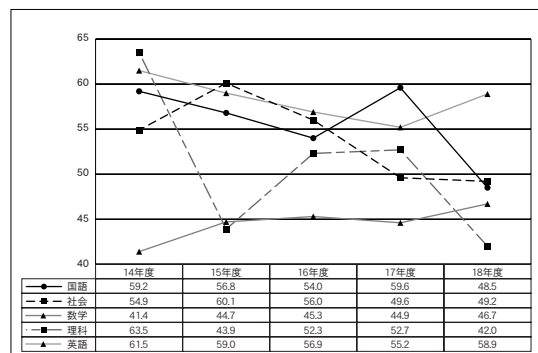
「読むこと」については、英文を読んで理解した時どのようなことができるか、という観点から様々な出題方法を採用しました。全般的には概ね良好な結果でした。

「書くこと」については、どのようなテーマに対しても、自分の言葉で意欲的に表現できるよう、コミュニケーション能力の育成という視点からの指導の工夫が必要です。

過去5年間の総合平均点の推移（図1）



過去5年間の各教科の平均点の推移（図2）



八ヶ岳少年自然の家リニューアル

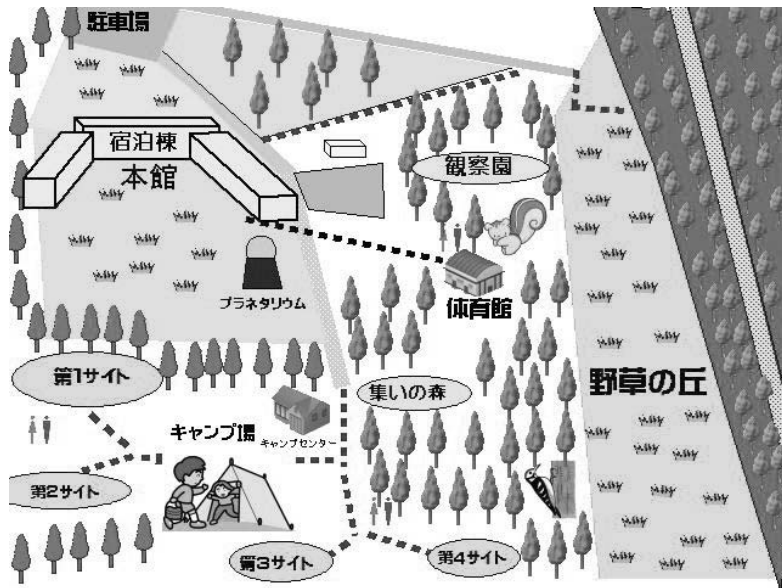
―社会教育課―

清里高原は、さわやかな新緑の季節を迎えました。

山梨県立八ヶ岳少年自然の家は、八ヶ岳の南麓に位置し、日中にはすがすがしい風と夜には満天の星空を体験することができます。交通条件も清里駅から徒歩十分と立地条件に大変恵まれております。

当少年自然の家では、平成十七年九月から平成十八年三月までの間、本館及びキャンプ場のリニューアル工事を行いました。本館では壁の塗り替え工事を行い、所内全体がとても明るくきれいになりました。また、本館トイレも和式から洋式のトイレになったため利用者に使いやすい施設となっております。また、バリアフリーを目指した施設として、玄関や廊下のスロープ、身障者用トイレを新しく設置し、障害者の方にも安心して御利用いただけます。

キャンプ場についても炊事場、トイレを新しくしたため、快適な施設となりました。



さらに、テントサイト付近にウッドチップを入れたため、雨天時等のぬかるみが解消されました。

このようにリニューアルされた施設で楽しいプログラムも御用意しております。人気プログラムの「冒険ハイク」や「オリエンテーリング」、

工作では、動物の形をした「焼杉工作」やオリジナルの「七宝焼」が体験できます。また、施設内には、プラネタリウムや体育館があり、雨の日のプログラムも大変充実しております。

ハイキングでは、吐竜の滝がある川俣川溪谷コースや、国の天然記念物の大ツツジがある美し森のコースも体験でき、大自然を堪能できます。

また、当少年自然の家では、充実した主催事業も開催しております。特に家族向けの事業では、

六月に農業を体験できる「親子で土に親しむ集い」、夏には満天の星を望める「スターウォッチング」やキャンプ生活を体験できる「さわやか親子夏の八ヶ岳高原」、秋にはきのこ狩りができる「さわやか親子秋の八ヶ岳高原」、冬にはスキーが体験できる

「さわやか親子冬の八ヶ岳高原」などを御用意させていただいております。

当少年自然の家は、四月からリニューアルオープンしておりますが、新しくなった施設に対して利用者から大変御好評をいただいております。是非少年自然の家を御利用下さい。皆様のお越しをお待ちしております。夏でも涼しい清里高原で心を癒す楽しいひとときをお過ごし下さい。今後も職員一同、利用者サービスに努めて参りたいと考えております。



夏休みは博物館で「はじめて」発見!

企画展「やまなしはじめて物語」

県立博物館では、夏休み期間中に児童・生徒を主たる対象として、「やまなしはじめて物語」と題した企画展を開催いたします。これは、身近なことの「はじめて」を知ってもらおうことで、山梨の歴史や文化についてより親しんで頂くという趣旨で企画いたしました。今回はその展示資料の一部をご紹介します。



「広瀬保庵画像」

下の写真のほのぼのとした子どもの絵を思わせる資料は、市川大門（現在の市川三郷町）の医師・広瀬保庵に関する資料です。広瀬は、石和と市川の代官を歴任した森田岡太郎（清行。現職は勘定組頭）に随行し、新見豊前守正興を正使とした七七名の万延の遣米使節の一員として、アメリカ合衆国などへ渡りました。鎖国以前には、中国大陸などへ渡った人々もいたかもしれませんが、本企画展では、本県人として初めて太平洋を渡って海外へ旅した人物として紹介いたします。

広瀬は、米艦ポーハタン号に乗艦し、安政七年（万延元年、西暦一八六〇年）正月、使節団の一員として太平洋を渡り、ハワイ、サンフランシスコ、パナマを歴訪しました。パナマでは、大西洋側のアスピノウオールまで、パナマ地

峡を横断する鉄道に乗車し、この日本人初めての鉄道乗車体験を絵に記したのが、写真の資料「日本人蒸気車に乗る」です。実際には、嘉永七年（二八五四）に来航したペリーの将軍への献上品に汽車模型があり、幕府の役人に乗せたとの記録がありますが、営業している鉄道に乗車した例としては最初期のものでしょう。

その後、ワシントン、ニューヨークを訪ねたのち大西洋を横断し、ルアンダ、バタビア（ジャカルタ）、香港を経由し、地球一周の航海を経て、同年九月に帰国しました。

帰国後、広瀬はこの渡米経歴を「環海航路新図」と「環海航路日記」として著述し、



「日本人蒸気車に乗る（県立博物館所蔵）」

多くの人々へその見聞を広めました。「やまなしはじめて物語」ではこれらの資料も展示し、本県から出た人物の初めての海外体験として紹介したいと考えております。

こうした人物にまつわる「はじめて」のほか、本企画展では、くらしのなかに関係する「はじめて」と、地域の産業に関する「はじめて」の三テーマを柱として、一〇あまりの山梨にまつわる「はじめて」を紹介いたします。歴史の広い裾野の一端としての「はじめて」や、あるいは逆に「はじめて」という頂点を感じ取って頂きたいと思っております。

また、こうした「はじめて」を取り上げるにあたっては、小中学生の来館者を対象にアンケートを行い、上位にランキングしたりクエストを中心にテーマ選定をいたしました。本企画展をきっかけに、多くの児童・生徒に本県の歴史や文化への関心を高めて頂ければと思います。どうぞ夏休みは県立博物館へお出かけください。

《開催期間》

平成一八年七月二五日（火）～八月二〇日（日）
（七月三二日、八月七日は休館日）

《企画展観覧料》

大人五〇〇（四〇〇）円、大・高生二一〇（一六〇）円、中・小生一〇〇（八〇）円（カッコ内は二〇名以上の団体料金）

県内在住六五歳以上の方、土曜の中・小生などは無料

《常設企画展共通券》

大人八〇〇円、大・高生三二〇円、中・小生一六〇円

《お問い合わせ》

県立博物館学芸課

電話〇五五（二六二） 一二七七



らくがき



「五月の風」
辻 純二

3年生が京都・奈良へ、2年生が高遠へ出かける五月、1年生は山梨市内でウォークラリーを行っています。各コースには、清白寺、山梨岡神社、窪八幡神社、金桜神社、万力公園などの史蹟があります。生徒たちは行く道々で地域の方からことばをかけていただき、グループでの散策を楽しんでいました。

立ち寄った市内の史蹟は新緑の木々に囲まれ、爽やかな風と語らっているかのようでした。清白寺仏殿の前では、教科書等によく登場する鎌倉・円覚寺舍利殿の姿が浮かんできました。外見上の特徴もさることながら、内部が華やかに彩られているのは禅宗寺院としては珍しく、京都・東福寺の三門を除けば、現存する禅宗仏殿はみな素木のままだと資料で知りました。

これより一週間程前、日本一の高所にあり、現存する天守12のうちの一つである備中松山城に行った際、昭和初期に一人の中学校教師の調査活動がきっかけになり、崩壊寸前の城の復興事業が行われ、当時の中学生も二万枚もの瓦を運び上げたことを知りました。

貴重な自然や文化を守るのは、中学生も含め地域住民の一人ひとりであることを強く感じた五月となりました。
(山梨南中学校)

暗黙の前提
早川 健

我々の周りには暗黙の前提がたくさんある。前提が一端崩れると、大きな話題になりあらためてその前提について考え直すことになる。例えば、「高層マンションは安全に造られる」という前提は耐震強度偽装問題発覚で初めて大きく見直される。ヴァンフォーレ甲府がJ1に昇格したとき注目をあびたのは「J1チームは大きな資本を背景にもつ」という前提が崩れたからであろう。

学習指導にも前提を見直すことによって示唆が得られることがある。

例えば、「一つ一つ丁寧に教えれば子どもは分かるようになる」という前提を疑ってみる。少なくとも子どもが考え出せることを教師が丁寧に教えてしまったら、子どもには考える場がなくなる。だから、教えることと教えるてはならないことを見分け、学習内容の本質は直接教えないで考えさせる指導こそが教師の役目として大切になるろう。

「どう考えるかを教えることができる」という前提を疑う。考えるのは子どもである。教師の発問や指示に依って、教師の期待通りに子どもは「考える」だろうか。実態は必ずしもそうではない。子どもの内面で展開される思考活動を教師が外側から操作することは直接的にはできないからである。「子どもには子どもの考えがある」ことを前提にしないと考える力を育てることはできない。

前提を疑ってみることは、毎日の教室で行われている学習活動について考え直す契機となる。

(新田小学校)

県立学校にAEDが設置されます

スポーツ健康課

学校管理下における児童・生徒の突然死は、毎年、全国で100件ほど見られ、山梨県においても、平成16年・17年に各1件発生しています。こうした中で、AEDは、平成16年7月から医療従事者でなくても使用が認められるようになり、全国的に普及し始め、すでに、11府県が設置し、18府県が今後設置を検討している状況にあります。そこで、県教育委員会でも児童・生徒の安全を考え、今年度、AED未設置の県立学校全てにAEDを設置することになりました。

設置に当たっては、教職員を対象としたAED及び心肺蘇生術に関する知識や技術を習得するための指導者講習会を、8月に県福祉保健部で開催する予定であり、全県立学校で1名以上の受講をお願いしています。

さらに、指導者となった教職員が学校で伝達講習することにより、県立学校の全教職員がAEDを使用できるようになります。



心肺蘇生法実技講習会の様子

遠くのまち体験推進事業を通して 富士河口湖町立西浜中学校

本校は平成17年度より2年間、山梨県教育委員会から「遠くのまち体験活動推進事業」の指定を受けました。昨年度は、本校の特色である太鼓活動を基軸とした体験交流活動として、8月9日から2泊3日の日程で東京都新島村への体験教室を実施しました。

◇事前の取り組み

総合的な学習の時間を活用し、全校を地理・歴史など6つのグループに分けて事前学習に取り組みました。それぞれのグループでまとめた資料をお互いに発表しあいました。

◇現地での活動

現地では新島高校太鼓部、三重県青山さくら太鼓と

交流を行いました。当日は地域のお祭りの日であったことも重なり、多くの人を前にして発表交流会をすることができました。

また、海水浴、海釣り、ガラスアート、新島博物館での学習など新島の自然を満喫し、新島ならではの活動に取り組みました。

◇事後の取り組み

体験教室の様子を新聞にまとめました。山梨日々新聞社から記者を招き、新聞の構成や記事の書き方を教わりました。

なお、取り組みの様子は遠くのまち体験活動推進事業のホームページ (www.kai.ed.jp/taiken/index.htm) に詳しく紹介しています。



学校紹介

山梨県立ひばりが丘高等学校

本校は昼間部（普通科・情報経理科）と夜間部（普通科）を併設（入学定員各科30人）する単位制の定時制独立校として、平成16年4月に吉田商業高校の地に開校し、在籍者数は1年次67名、2年次41名、3年次35名の合計143名です。

「ひばりが丘」は、本校付近の古来の呼称であり、天高く舞い上がり明るくさえずる「ひばり」の姿に、夢と希望を持ち自分探しにチャレンジする姿を重ねたものです。校舎は、平成10年に改築され、県下屈指の非常に恵まれ充実した施設・設備を擁しています。多様な生徒の実態や希望に対応するため、少人数教育

を実施し、3年間で卒業できる三修制を設け、昼夜間部の間に「特別授業」を2時間実施するなど、修業年限の弾力化を図っています。

クラブ活動は、限られた時間の中でも熱心に取り組んでいます。運動部では、卓球・陸上部で全国定通総体に出場するなど健闘しています。文化部でも、軽音楽部、電卓・ワープロ部、美術文芸部なども着実な取り組みをしています。

今年度は第一期生が卒業を控え、検定資格試験合格や進路実現に向けて、一生懸命取り組んでいます。



「確かな学力・豊かな心」 学校教育を支援する研究を目指して

— 山梨県総合教育センター — 研究開発部 —

本年二月の本センター研究発表会には県下の学校から大勢の先生方に御参加いただき、熱心な御討議や貴重な御意見をいただくことができました。中でも、「国語力向上」や「キレる子ども」、「特別支援教育」の発表では、研究会後のアンケートにも多くの御意見や学校現場での課題が寄せられました。

研究開発部は、本センターの指針である「学校教育を支援する、確かな情報発信源としての総合教育センター」を受け、学校の現状に即した今日的教育課題を把握し、課題解決のための調査・研究及び指導計画・指導方法の研究・開発の推進を図っています。また、研究成果の発表や資料の提供などを通して学校教育を支援する、確かな情報発信を行いたいと考えています。本年度も、主事研究、特別研究プロジェクト、研究発表会、センターホームページへの情報掲載等を行い、目標に迫りたいと考えています。

◇主事研究

本センターの設置目的として、研修、研究、相談業務が大きな柱となっています。その中の研究については、研修主事の研究が中心となっています。本年度の主事研究は、「生きる力」

をはぐくむ実践的な研究を全体テーマとし、グループ研究を主に進めていきます。

特に、昨年度まで二年間継続してきた「国語力向上」グループは、本年度をまとめの年として、教科等における授業の改善を、「論理的思考力」と「相互向上コミュニケーション」の育成と結びつけて、どのように実現していくか、具体的な指導案の提示と授業実践を通して、その道筋を明らかにすることを研究の目的にしています。その他のグループ研究として、教育相談、特別支援教育、情報教育などがあります。

来年二月二十日に予定している本センター研究発表会においてこれらの研究成果を発表いたします。また、センター研究紀要としてCDを各学校に配付するとともに、センターホームページにも掲載することになっています。

◇特別研究プロジェクト

我が国の子どもの学力について、国内外の調査結果が発表されています。その中で、読解力の低下や学ぶ意欲・学習習慣に課題がある」と指摘されています。

また、国際学力到達度調査では、「算数の勉強が楽しい」、「算数の勉強に自信がある」と思

う子どもの割合が他の国に比べて低いという結果が出ています。一方、本県が平成十七年度に実施した山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査によると、小学校算数科では、特に論理的思考力の育成が必要であることが明らかにされています。

このような状況を踏まえ、研究開発部では特別研究プロジェクトとして、小学校算数科における指導の改善に視点を当て研究することになりました。小中学校の先生方にも協力していただき、具体的な指導方法を盛り込んだ「算数科授業指導例」を作成することになっています。

◇情報提供

センターホームページに、県下の学校の校内研究のテーマや学習指導案などが掲載されています。また、県内外の研究指定校なども見ることができます。校内研究や先生方の研究の参考になると思われます。是非活用してください。

◎総合教育センターホームページ

<http://www.ypec.ed.jp/>

新教育長に

廣瀬孝嘉氏が就任

眞田良一教育委員（教育長）の辞任に伴い、後任の教育委員として、廣瀬孝嘉氏が知事から任命され、3月23日の臨時教育委員会において、教育長に指名されました。

ひとこと



教育長
廣瀬孝嘉

教育は、あらゆる社会システムの基盤である人材育成が目的であります。そして「知の時代」とも言われる現代において、子ども達が自己実現を図るためには、「確かな学力」と学ぶ意欲の向上は最重要課題です。

現在、教育界を取り巻く環境は社会の急激な進展に伴い大きく変化しており、学校教育の充実や家庭・地域・学校の連携の強化など、課題が山積しています。

また、ここ数年、全国的に子ども達が被害にあう痛ましい事件が頻発しています。通学路を含めた学校の安全確保にも一層力を入れていかなければなりません。

更には、来春の高校入試から全県一学区による新たな入試制度が実施されるに当たり、円滑な導入と魅力ある学校づくりを進めていく必要があります。

加えて、昨年十月に開館した県立博物館をはじめとする社会教育施設と学校教育の連携も課題の一つです。

これらの課題の解決を目指し、『やまなしの教育基本計画』の基本理念である「郷土を愛し未来を拓く やまなしの教育」の具現化に向けた取り組みを一層推進して参りたいと考えております。

新委員に

古屋知子氏が就任

県教育委員会では、内藤いづみ教育委員の任期満了に伴い、後任の教育委員として、古屋知子氏が知事から任命されました。新委員の任期は平成22年3月22日までです。

ひとこと



新委員
古屋知子

去る三月二十三日に山本知事より山梨県教育委員会委員の辞令をいただきました。今あらためてその責任の重さを痛感している次第ですが、精一杯職責を果たしていきたいと思っております。

さて、子供を取り巻く環境の悪化、全県一学区による新入試制度の実施、中教審による小学校での英語必修化提言等、真剣に検討しなければならぬ問題が山積している現在の教育界です。そのような状況下で、わが県の子供たちがつつがなく成長でき、それと同時に夢と希望が持てる社会を実現させるためには、地域全体で

子供を見守るだけでなく、人と人との互いに意識して意思の疎通をはかり、子供だけでなく親もその中で共に成長していけるような社会になる必要があると考えます。

教育の現場での経験は無い私ですが、子育てをしてきた主婦としての、あるいは二十年ほど関ってきたガールスカウトのリーダーとしての感覚を県教育委員会に持ち込みたいと思っております。どうか今後ともよろしく願っています。

『図書館員の道具箱…テーマ別調べ方ガイド…』がスタートします！

山梨県立図書館

◆「図書館員の道具箱」とは？

図書館には、事(辞)典をはじめとたくさん調べものに役立つ資料があります。分野やテーマによって、調べる資料も違ってきます。

「図書館員の道具箱」では、皆様が図書館で目的の事柄を探すときの道しるべとなるようにご案内していきます。「人物を調べるには」のように、毎回テーマを設定し、設定したテーマごとに、主な県立図書館所蔵資料や、有効な情報源などをご紹介します。

◆「調査相談デスク」(<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/soudan.html>) をご利用ください！

当館ホームページ内の「調査相談デスク」では、過去の調査事例や「図書館員の道具箱」など調査研究や調べ学習に参考となる情報を集めて提供しています。「図書館の道具箱」は、こちらにも掲載していきます。また、メールでの調査依頼も受け付けています。



山梨の文化財



大師東丹保遺跡出土・網代

県指定有形文化財 (考古資料)

大師東丹保遺跡・網代一点 (山梨県)

(平成十七年十二月二十六日指定)

本資料は、平成五年に南アルプス市(旧甲西町)において甲西バイパスの建設に伴う発掘調査により出土した、中世(鎌倉時代)の木製の建築部材です。

大師東丹保遺跡は、富士川右岸の標高二四五〇〜二五〇〇と測る甲府盆地の中でも低位の地域に位置します。発掘調査の結果、弥生時代から鎌倉時代にかけての建物跡や水田跡をはじめ、地震痕跡や古墳なども確認されています。また、

出土した遺物も豊富で、古墳からは壺形埴輪が出土しています。低湿地に立地していることから通常では残りにくい網代などの木製品が大量に見出されたのが本遺跡の大きな特徴といえます。

網代は、部分的に破損し、長辺一五〇cm、短辺九三cmと測り、幅六〜九cm、厚さ二〜三mmの檜板を編み込み、杵・棧・縦板等の各部材で構成されています。

中世の絵巻物等には、垣根や建物の壁に網代が多く描かれ、この網代も、同様に使用されていたと推測できます。この資料は、中世の建築様式や、建築技法を考えていく上で極めて貴重な実物であり県外からも幅広く活用されています。

主な行事予定

県立博物館

企画展

「やまなしはじめて物語」

7/25〜8/20

県立美術館

特別展

「こんな顔 あんな顔 いろんな顔」

7/22〜8/18

「巴里憧憬―エコール・ド・パリと日本の画家たち」

8/26〜10/1

県立文学館

特設展

「赤毛のアンの世界へ」

7/22〜8/27

考古博物館

夏季企画展

「縄文時代の終焉」

7/15〜9/3

埋蔵文化財センター

「先生のための文化財活用講座」

8/1、8/8

表紙を飾る



秋山 千咲

増穂町立増穂中学校
第三学年

作品タイトル 「繋ぐ世界」

<作品の紹介>

この絵は、強いモノが弱いモノをねらい、そして弱いモノは消えていく、それによって自然界は成り立って、今もあり続けている…。そんな世界を表現したかった。この絵を見てくれた人に、自然界の繋がりを感じてもらいたい。そして、もっと人と人が繋がっていく事を願って、このタイトルをつけてみた。

指導者 塩谷茂美教諭

「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

- ◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又はFAXして下さい。
アドレス: kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX: 055-233-1744
- ◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyouiku/46150769857.html>